

1 林の中をのぞいて植物をかんさつしましょう。

林の中には背の高い植物と背の低い植物があります。それぞれの植物から

1つえらんで絵をかいたり、とくちょうをメモしたりしましょう。 自然発見館「北九州の林 山田緑地」

背の高い植物の名前： 例 タブノキ

絵

背の低い植物の名前： 例 ベニシダ

絵

ヒマワリやホウセンカは、葉やくき、根で体ができていました。
背の高い木も同じように、葉やくき、根で体ができています。
しかし、シダのように、くきがなく、葉と根で
体ができている植物もあります。



2 「タネの旅行」をしらべましょう。

自然発見館「北九州の林 タネの旅行」

(1) たねには、新しい場所へなかまをふやすためのくふうがあります。どなくふうがあるかしらべてみましょう。

たねの絵

タヌキの体にくっついて
種子が運ばれる様子
を見学できます。
また、ルーペで種子を
拡大して見ることで、その形を
観察させてください。

えらんだたねの名前： 例 オナモミ

気づいたこと

例 とげがたくさんついていて
動物の体や、人の服に
くっつきやすくなっている。



(2) たねはどうやって運ばれるのでしょうか。「タネの旅行」パネルを見て分かったことを書きましょう。

たねが運ばれる方法

例 ・風によってとばされて運ばれる・動物に実を食べられてフンといっしょに出されることによって運ばれる。
・動物の体や人の服につくことによって運ばれる。

※ 新しい場でなかまをふやすために様々な工夫がされていることに気づかせてください。